

平和の話聞いて〜 松岡 聡

僕は戦争以上に恐ろしいものはないと思いました。話を聞いたときに、もうこんなことを起こしてはいけないと思いました。短い命の人一人、命がうばわれた人、いろいろ人がいただろうと思いました。大切な人もうばわれた人はとても悲しいしうばれた人を見たくなるだろうと思いました。

もし、その時、自分の身がうばわれたら、どうしたら

よいのか分からず、たまとう日々だと思っています。

平和であるということはうれしいことだし、

また、もっともあたりまえの常言哉だと思っています。

命は地球より重いのだと思うと、ただ死んでいく人々はなんで死ななきゃいけないのだ

とじの中で叫んでいると思います。ましてや原爆は

とてもいや、何よりも危ないもので使ってはいけ

ない、作ってはいけなく、戦争は人の悪い

心を産みだして、しまうので、注意する必要

があると思います。今まで聞いた中で、

多分、一番こあい話だと思っています。池田さんの

お父さんは、決して戦争をかけたがるおかしな

人ではない、正義感あるいい人だと思っています。

この「戦争」はもう二度とおこしてはい

けないといういろいろな人に伝えるのは、

正しいことだと思っています。僕も戦争の

おそろしさを伝えたいです。

～平和の話の聞いて～

わたしは、去年の夏休みに長崎へ行き、
原爆資料館や平和記念像を見に行き
ました。池田さんの話を聞いて資料
館で見た写真を思い出し、ちょっとだけ
寒気がしました。皮つがたたれている
のを写真で見ましたが、池田さんの言う
通り、驚いたただけでした。'体験'文章
> 映画 写真 というのは本当だと思っ
ました。池田さんのお父さんは本当に
勇かんだと思いました。上等兵の戦友
の方たちを、遺体収容の時もよく
逃げたさなか、たなと思いました。
わたしは「はたしのかん」というマンガ
を読みました。リアルに原爆投下
直後の様子が画いてあり、こんな感じ
だったんだと震え上がりました。
池田さんの話を聞いたら、わたし
は鼻血が出てしまったのかもしれない
せん。原爆は本当に恐しいです。アメ
リカの方々は何とも思っていない
と思いますが、これは被爆者の方々
の心に深い傷をつくってしまったと思
います。

新郷 里石少

私は、先生の話を聞いて、戦争って、やはりおそろしいなあ
と思いました。私は戦争がまだ時代からずいぶん
平和で豊かな時代に生まれてきました。だから戦争の
おそろしさとは、自分が体験してないと、なんとなくの実感しか
わいてきません。でも、先生の話を聞き、私は、その時、つまり、
広島に爆弾が落とされたときのことを想像しました。

爆心地は、一時真空になったと言われ、とても苦しかったです。
原子爆弾は、とてもおそろしい威力をもっているものです。

そんな原爆を落とされたのは、日本だけじゃなくて、とても
悲しいです。しかも、終戦は8月15日、原爆が

落とされたのは、8月6日、9日。あと週間でも早く終戦が
来たのは、と思いました。原爆には、放射線という

物質があり、人々の細胞をこわし、人々を死にいたらせる、とても
こわいものを知りました。

戦争は、罪のない人もまきこまれ、人間、という
仲間たちを殺し合う、とてもこわくて、せつなく
生き残っても、家族がいなくなったり、家がなくなったり
して、とてもつらい目に合います。

日本は今、60年間以上も戦争をやっていません。
だから、これからもこの平和な日々が、いつまでもつづき
子どもたち、またその子どもたちにも平和であってほしい
と思いました。

先生は、戦争のおそろしさを教えてくださり、ありが
うございました。こんど、「広島の日々」という本を
読んでみたいと思います。 上村 静香

へ平和の話を聞いて、

池田さんの話

ぼくは、昨日の平和の話を聞いて、戦争の悲惨を改めて知りました。心臓がしめつけられる感じがしました。水がたくさん入ったドラム缶に人が惨い姿で死んでいたという話かしてモルロウスクで想像できません。僕は池田さんが所属していた2班Eの人達が、原子爆弾から被害を寄跡的にうけたことがすごいと思います。そして、遺体をかまんで運ぶ話を聞いても凄く強いなと思いました。あと、トラックに乗って爆心地に向かう場面も気持ち悪かったです。原爆を落としたB29に乗っていたパイロットをとても憎く思いました。そして交代交代でおんぶをして、女性を助けてお人優しい心に感動しました。もう原子爆弾は日本以外の外国にも落とさないでほしいと思います。世界でた、た一か国、原爆を味わってしまった日本な分かります。そのために、戦争係分争存にも絶対にあきらめずしてほしいと思います。池田さんと一緒に、さまざまな人々を助けて、2班Eの人達は、池田さん以外、もう帰らぬ人になってしまいました。か、吉くした姿がすばらしいと思います。また、今も原爆の後遺症でガンや白血病、かかっている人がいます。かわいそうだと思います。あと、2009年に、久間寛生防衛大臣が「長崎に原爆が落とされたのは、(F)がない」といふ話をしたが本当にひどいと思います。これからも池田さんには、戦争の話を改めてかまわしてほしいと思います。

池田真徳さんへ

私は、「ヒロシマの九日間」の話を聞いて、衝撃を受けました。原爆のおそろしさを生で聞く事は始めてだったし、本や教科書、テレビなどで見るのとは全く違いました。当時、被害を受けた人達の苦しさや命を守りたいという思いは、体験しないと分からないかもしれません。私には、完全に伝わりませんでした。池田さんの話を聞いてから、戦争について改めて考え直す事ができました。そして考えた事は「戦争は得がなく、損をするだけ」という事と、「人々を苦しめて、何もや、ていがないのに被害を受けてしまう悲しい戦い」という事です。特に、「人間の姿ではなくなっている」という所を聞いた時には悲しい気持ちになりました。もし、自分かあの1945年、8月6日に広島にいて、原爆の被害を受けていたら、変わりばえた姿になり、苦しんでいると思いました。そして、精心的にも追いつめられてしまうのではないかと考えました。結局、戦争で何だったのか、と考えた時「何も意味のない、大きなケガ」の様なものだったのかなと思います。これは、人々を苦しめる、最悪なできごとだと改めて確信しました。これから、戦争については、意識しながら考えようと思います。

桃二小 6年2組 森脇有沙

池田眞徳さんへ

前はわざわざ桃井第二小学校に来て、原子爆弾
が落ちた広島のことを話してくれてありがとう
ございました。その前までも原爆のことはよく知って
いただけると、これほどまでに悲しいことを改めて感じ
ました。「はだしのゲン」というマンガがありますか。
それを読んで、原爆の悲しさをはじめて知りました。

池田眞徳さんが話してくれた、眞徳さんのお父さんの実話
は、とても悲しく苦しいことでした。

そして、原子爆弾はくまれます。た、たウラン800gが燃え尽きる
だけで、あれほど大きな爆発をおこすとは、まったく知らなくて
すごいと思うなと思いました。

そういう化学の進歩が、こういうこんなことに使われて
ほくはとても悲しいです。

も、とも、と本で原爆のことを知ったのと思います。
この前の話はとても感動しました。

本当にありがとうございました。

森田紀一より

池田 貞徳さんへ

昨日の、池田さんのお話を聞いて、僕は
広島に原子爆弾をおとされた事や戦争
の事をお話を聞く前は戦争や広島に
原子爆弾をおとされた事をよく知らなくて
ただ戦争はこわいしか思っていました
でもお話を聞いて、なぜ広島に原爆が
おとされた事や、爆弾がおとされた後の
事までじっくりとくわしく教えてくれて、
池田さんのお話を聞いている時に
そのお話を想像してみても、ますます
戦争がこわくなってきましたけど
池田さんが書いたヒロシマの九日間を
読んでみたくなってきました。
それと、戦争はこわいので、他の国
でも戦争をしないでほしいと思います。
ありがとうございました。

桃北ニ小 6-2 村山大斗

池田 眞徳さんへ

この前は広島の原爆のことについて木村井第二小学校までありがとうございました。ぼくは四年生のころにも原爆の話をしてもらい、さらに、六年生になってまた原子爆弾の話をしてもらったので、広島市民たちの悔しさがよく分かりました。ぼくは四年生のころはあまりよく分からない所があったけど、池田さんのお話でなぜ広島が原爆を落とされたかがよく分かりました。でもなぜ、補り^レが足りないからといって原爆を落とした所が疑問に思っています。

四年生のころに読んだ「はだしのゲン」という絵本を見たから原爆に居る時光がどのくらい辛かったかが知りたいです。

池田さんの話にも出ていた人を焼いたり、トラックにしがみついてる人もいたり、水のおけの中に入っていた人も、手を金鉢前方に向けて皮をた本さげて歩いている人も金鉢「はだしのゲン」に出てきました。だからぼくは単戦争はやめて

六一二木村井 勇幹

池田真徳さんへ

私は、池田さんの話を聞いて、戦争は、とても、こわいものだと、思いました。とくに、けんぼくがおちた後、おちた所に近づいていくほど、辺りが、なにもなくなってきた。最後には、灰色の世界になってしまったという話を聞いた時には、私の中にあったけんぼくのイメージが、とても、変わりました。まさか、ここまで、なにもなくなってしまうなんて、思いもつきませんでした。

そして、-しゅんで、多くの人たちが亡くなった事を聞いて、戦争は、なくなしてほしい。と思いました。川は、やけどをした人がおしよせたために、水がなくなってしまうし、その後、へいたいさんが、亡がらを、焼くのも、とても、つらいことで、頭が真、白になりました。でも、生きている人を、運んだという話を聞いた時は、それが、とても、うれしい事なんだ。と思いました。

戦争のことについては、多くの人を命をうばってしまうので、やめてほしいと思いました。特に、けんぼくは、-しゅんにして、多くの人を命をうばってしまい、助かった人でも、人でないようになっているという話を聞いたので、この地球上から、けんぼくは、なくなしてほしい。と思いました。池田さんの話を忘れずに、これから、生きていこう。と思いました。

桃二小 6-2

三橋 あかり

池田眞徳さんへ

昨日、池田さんが話してくれた、広島原爆の話を聞いて、

私は、とても原爆はこわいものだと思いました。

もし、自分が、今ではなく、昔(原爆が起きたころ)にうまれ

ていたら、どうなっていたかな。と、ちょっと想像してみました。

私は、今、たまたま今の時代にうまれたたけれど、もし、それが

今ではなかったら、私は、池田さんがそのころ生きていた

人たちの様子を話してくれたように、自分も、はたしの

かわかきでいっておいて、もしかしたらコケコケ

にはなっていたかもしれないと思ったり、とてもこわくなりました。

た。そうせう、原爆はたけではない、私は、戦争自体

がこわいと思います。私かもし戦争をやっている時にうま

れていたら、本当に生活が大変なことになっていて、食べ物

も今のようには簡単には食べられなかったかと思います。

池田さんが、「うでまにき」でひきはらって、かわかきで、

赤い肉が見えた」といった時、思わず自分のはたのかわ

を見て、かわかきおけたとつぶやいて想像していました。

最後の方に、池田さんが、「わかた？」と聞いてきた時、

私は、こわいというより、本当に大変だったんだなと思っ

ました。「話しは全然みんなよくないよな」といってあげたか、は

り話でも、こわいと思いました。「経験するのが一番こわい

だよ」といった時は、そうだった。池田さんのお父さんは経馬飼

者なんだと、改めて思いました。大切な話をしてくれて、

本当にありがとうございました。

桃井 第二小 六年二組 振吉花依李

池田 眞徳さんへ

むし暑い季節になってきました。お元気ですか。
この間は来て下さって本当にありがとうございました。
原はくはくわいなと新めて感じました。
現代の私たちはあまり、そういう経験がないので、資料館などに行っただけでは、あまりきょういなどを感じないんじゃないかなと思っただけで、やっぱり、本当の戦争を知っている人たちの話を聞いていると本当にきょういがかこみ上げてきます。また一つ、わがたことがあります。なせひらかたれ下がった人たちがななめ前に手を上げて歩いているかということ。前にも人がきてくれて一度きいたことがあったのだけど、はまよそのことはわかりませんでした。でも池田さんが来てくれたおかげでやっとわかりました。こすれると、いたいからでした。でも、ひらかたけていいるぐらいいで、よく生きていられるなあと思っほした。また、死んでしまった人たちを運ぶ人々もき、とつらかただろななあと思っほしました。しかし、やっぱり、アメリカはひどいと思っほしました。こんなに人々たちを苦しめておいて、おんて今も思っほしています。もっと、はくたんのない平和な世界であってほしいと思っほしました。また 桃二小にきて下さい。

桃二小 6-2

廣瀬 栗南

。池田真徳さんへ。

感想

原はくさんの話しありがとうございました、原はくのおそろしさやひかひかおかりました、はかい力やきょうが、おかりました、原はくの、しょうげきはあつた飛行機にもあつたと聞いたので命をかけて、的も、原はくを落したころがおかりました。原はくのかやくみたいのが、たつた800gで、広島を燃きのおににしてしまふほどの破かい力がおかりました。

戦争について考えたこと

戦争は、つみのない人をころしあうだけです。戦争に反対する人は、ころされたりされます。日本は、もう、戦争は、ないから安心だけど、昔の人々が、かあいそうに思えます。戦争に勝つたらうれしいと思ふけど、それで人々は、うれしいのかなと思ひます、かならず一人ぐらひは、死んでしまうのでそれで勝つてよるころのは、ほくは、反対だと思ひます。

桃井第二小学校 浜岸博人

池田眞徳さんへ

池田眞徳さんの話を聞いて戦争はすごい悪い
ことがよくわかりました。戦争はたくさん人の命が
なくなってしまう、あまりいいことがないのでなんで
戦争をするのかわらうと思いました。軍人は自分の命と
みんなの命を守るすごく大切で大変なんだなと
思いました。今の日本は戦争をしないので、よか
たなと思いました。原子爆弾はたった一つで
半径200メートルもないの物すべてをいっしょ
んにして焼きつくしたので、すごい悪いなと思
いました。

桃二小学校 六年二組 藤宮 七一

池田 真徳さんへ

私は、その時具合が良くなかったので、お話を聞けませんでした。

ですが、私が戦争について思っていることは、戦争は、関係が
無い人まで、被害を受けるというとても悪い物だと思いま
もし、今この日本で戦争が起ったとすると、私の父は、絶対
に戦争に行くことになります。家族も、みんなはら
はらになって、私は、もう悲しくてたまらないと思います。

そして、私は、戦争に行く人がどんな気持ちで、
戦場に向かっているのか考えて見ました。その人の気持
は、きっと何でも、私が家族とはなれて、自分の家をはな
れてまで、戦いたくないのに戦わなければならな
いか、きっと頭の中は、そういうことは、かり考えていると
思いました。アメリカ戦争では、子供まで兵になったと聞
いた時、は、きり言ってショックを受けました。

こんなひどい戦争は、本当にやめてほしいです。
この国、この世界が平和に暮らしたいと思いをしました。

桃井第二小

徳永 二紀

池田真徳さんへ

私たちのためにお話をしてくれて、ありがとう
ございました。このお話を聞く前は、ただ「ばく
だんがおちただけと、ひとごと」とたっただけと
聞いたら、とても大変なことだと分かりまし
た。かっうに生活していたら、何かおこった
かも分からず、「ばくだんがおちて来て、
死んでしまいます。すごくざんこくだなあ
と思いました。生きている人でも、けがをして、
うじ虫がやいたり、はえか」とひまわったり生
きているのはとてもいいけど、とってもひどい
じょうきょうだったと思います。戦争が
おちてもがんになってしまう可能性が
あります。簡単にばくだんをおとしても、やられた
人はたまったもんじゃないと思いました。
平和というのは、とても大事な」という
ことがよく分かりました。これからは、
戦争のことを反省し、平和な世界を
つくっていきたいと思いました。

桃二小 6年2組 坪田 紗英

池田真徳さんへ。感想、ぼくは池田さんの話を聞いて、原爆はとてもおそろしいと思いました。広島と長崎の死者を合わせると30万人以上の方が死にました。しかも原爆が爆発したときの下の温度は3000°にもたしているからです、また真ん中は約100万°もありました。なぜ戦争がおこったのか？

おこらなければこんなに人は死ななかつたでしょう。

日本とアメリカも、もっと仲よくすればいいのに...

日本が原爆を落とされる前にこうなればよかったのに、こんなに人が死んで原爆はおそろしいと思います。

戦争について、戦争はとてもおそろしいと思います。

お金を何億円と使、人を殺すのがおかしいと思います。

おとみんなで仲よくすればいいのに、この先もき、といつかの戦争がおこると思うけど戦争なんてなき、いいと思います。

6年2組 高橋 修一

池田 眞徳 さんへ

この前は、一時間 戦争について話して下さい、ありがとう
ございました。原子爆弾の落とされた時の様子を
とてもリアルに、私はその場にいらるような気持ちで
話を聞かせていただきました。

最初は、皮ふがはがれ落ちるなどの話を聞いて、気持ち悪い
としか思っていませんでした。でも、話を聞いているうちに、
「なぜ、アメリカはこんなひどいことをするのだらう、罪のない人
をなぜこんなに苦しめるのだらう」と思うようになっていきました。

私は、戦争は 誰のためにあるのか分かりません。

でも、戦争は人を苦しめるということは、今回の話ではっきりと
分かりました。

戦争をやっても、なんの解決にもならないと思います。

世界の人たちがみんな仲良くする といっても難しいとは
思います。

でも、戦争がなく、みんな平和になる日が来るといいなと
思います。

平和について考える機会くださって、本当にありがとう
ございました。

杉並区立 桃井第三小学校

六年二組 孫 美麗

池田 眞徳 さん

私は34年のころに原爆の写真を見ました。

すぐく見ているとその人の気持ちや痛さが分かってきました。

一回写真を見て、今回は6年生になって原爆のお話を聞きました。

そのお話を聞き私、こう思いました。↓

広島県の人達だけがなぜこんなことにな

たのだらう、川も暑くなにもかもが暑つく、

たすけることはできなくて、も兵隊の人達

が、がんばって救えていて、井戸水みたいな所に

入った人達は、助けてもらう時に皮がむけて、

骨までみえると聞きました。

私は、実さいにはなにいけなくて、そういう体験をした人しか分かりません。

戦争は、もう死かかこいでおこなわないと、

こわくて何にもできません。

戦争は悪魔です。

もし、私達もそういうことがあるならば、もう

その時は...おしまったと考えました。

しかし、兵隊さんたちは最後まであきらめな

いでいるので、私はもしそういうこと

があるのならば、あきらめないと考え

ます。

白水花佳

池田 直徳さん

きのうのお話をぼくは聞いていたら、少し、
ぞっ、としてきました。戦争は怖いということだけ
しか知らなかつたけどその戦争についてのこ
とを詳しく聞くと、怖い、という気持ちから
恐怖という気持ちになつてきました。

その広島に落ちてきたのは、孝文牛書にも
のつていふほど強い力を持っている「原子力爆弾」
が来た。このようなことを聞いていふだけでも

怖いという気持ちになつてしまつて、
余り驚かしてゐる人がたくさんいて、その中に池田さんが
いふ、「私」は体験した、ということもものすごく

怖さ、と、何が起つたのかが分からない疑問点

と、この話がでたそうです。池田さんのお話を、

その怖さ、という物を乗りこえることができた

のも、ものすごく、と思つておりました。広島をけ

でなく、長崎にも「原子力爆弾」は落ちたといふ

ことは、その二ヶ所でたくさんの方が亡くな

つてしまつた。ということになつて、

この話を聞いて、怖さは、「戦争」ということは

の意味を口では言うことができません。

本当の「戦争」はものすごく怖いことを

新しく実感することができました。

ヒロシマの九日間の話聞いた感想

池田 真徳さんへ

ぼくは、ヒロシマの九日間を聞いた。第一いんじょうは、原爆がおとされた時の人のようまで、広島市内に近づくにつれて、人のすがたが、だんだん人から、人でなくなっていくと言うのにおどろきました。しかも、うてや足をつかせと、皮がとれたり、肉がくずれおちたりするのがありえませんでした。あの、原爆(リトルボーイ)の中にある800gのウランで、いっしょにして、2万人の人をころし、原心地から、約3km以内の家をふさとばしたと言うことにおどろきました。アメリカ軍は、あの原爆をなせおとしたか気になってインターネットで調べて見ました。広島と長崎におとされた原爆は、ウラン爆とプルトニウム爆の二つのさしゅを実験的におとしたと書いてあります。原爆は、広島の人には、ヒカやヒカドンとよばれて言方と書いてあります。爆破した時のせとこうと、しやうげきをあわせた物と書いてあります。ぼくは、戦争はなんがためかと思いましたが、多くのさしゅを出したためだけでなく、生きのこった人の家でもをばかいるのです。戦争はなんのためにおこなうと思いません。お話ありがとうございました。

桃七小6年 坂井正樹

池田真徳さんへ

私は、3~4年のどちらかに池田さんが話してくれた原爆について、被害にあつた別の人が話してくれた記憶があります。今でも、まだはっきりと話の内容を覚えています。その時は、原爆にあつた人々の写真、キノコ雲(原爆雲)の写真などいろいろな写真がありました。とても怖いなと思ひました。でも池田さんは「恐怖なのは体験すること。2番目は、活字で読むこと。3番目は映像や写真だ」とおっしゃいました。私は(帰ってきてから池田さんの話をした母も)2番は当然映像や写真だと思ひていましたが、本当はびっくりしているのだと気づきました。私は何度も原爆の話や、はだしのゲンを(テレビで)見ました。その時は、はだしのゲンは子どもは見せ方がないという規制がありました。当時、私も幼く、姉も妹も幼かったです。そのアニメを連れてきたのは母ですか。そんなにリアルだとは思わなかったらしいです。私は、そのアニメを見て泣き止まらなくなりました。お母は私を他の所へ連れていきました。でも、私は泣き止まらなくなった人間がそれほど人の命を奪う人々を人ではなくなってしまうような姿にさせる原爆を作ろうとした意志作つたことか考えられませんでした。

池田さんの話を聞きました。おびろく、残念でした。その入付でなく子にも遺伝されるというも分かりました。必死に助けようとしたけど無理。せくなつた人の無念さ、人間はなれるのか怖いという事。途中でなんども涙がみました。でも、怖いなとあつたけど、原爆はそんなに人の命を奪うと書くと悲しくおそろしかつたからです。途中まで私事を多く書いてしまひましたすいません。池田さん話ありがとごおりました。6-2 結構美彩。

池田貞徳さんへ

池田さんの話を聞く前までは、戦争がそんなに
こわくない物だと思えていましたが、本当はこわい事だと
知りました。原子爆弾を落とされたのは日本だけだ
と知りました。つまり日本人しか被害者をしていないので
日本人は知らないといけないことを知りました。

原子爆弾で広島県の大勢の人が亡くなっていますか。
池田さんのお父さんや部下、車の運転手さんなどがたまたま
かバヤドラムのおかげで助かったのですごく運が良いなと
思いました。

戦争は、人が死んでいくだけで何も良いことが
ないと僕は思います。池田さんが言っていたように
晩年はこわなく、話のちかこわいことが分かりました。
またお話を聞かせてに桃二小に来てください。

桃二小 6-2

河野太一

池田真徳さんへ

昨日は、一時間おはなしをしていただき、ありがとうございました。

昨日の五時間目に池田先生のおはなしを聞いて
いるあいだ、いろいろな事を考えました。

そして、戦争とはおそろしい物だと思いました。

さらに、原子爆弾は、いっしょですべてを灰にすると聞き、
おどろきました。

た、たゴルフボールぐらいのウランがはくはつするだけで、

大きな所では百万度にもなり、さらに熱が球状になり、
七千度という高温ながら音速以上の速さですすむ…
とてもおそろしい物です。

さらに、世代をこえてこういふのが残ることをきいて、
なぜそのような物をかいはつした国があったのか、

そのようなものが地球にあってよいのかと思いました。

今は北朝鮮せんなどがかく兵きをはきするか？という

じょうきょうですが、そのようなかく兵きなどは全ての国が
もたないべきです。

最後に、池田さんのお父さんも、今は元気だと
聞き、安心しました。

また、いつかおはなしを聞きたいです。

梶井第二小学校六年二組 小野寛明

池田真徳さんへ

広島の日開について、話してくださって

ありがとうございます。

命の大切さを、あらためて考えることが
できました。

平和ということがどれだけいいことなのか、

戦争がどれだけ大変なことなのか、

池田さんから話を聞いて、よくわかりました。

私は、なぜ外国と戦争をするのかよくわかりま

せん。そんなことをしなければ、とてもいい

国づくりができるのに... といつも思います。

その戦争やげんばくの時に、人を助けたり、

けがをなおしたりするの、はとても大変なのに、

それができるなんて、とてもすごいと

思います。私は、その話を聞いただけで

とても気分が悪くなったり、おどろいたり

しました。

私は、その話を聞いていながら、たら

平和がどれだけ大切なことなのか、

戦争がどれだけ大変なことなのか、

人の命、自分の命がどれだけ

大切なものなのか、わからなかつたと思

います。

大切さ、大変さを話してくださったことに感謝

しています。 . . . 桃井第二小、六年、岡田佳蓮。

池田 眞徳さん

昨日は、広島のお話をして下さってありがとうございました。広島でおこった原爆の非爆者についての感想や広島の様子などのお話をしてくれましたね。ぼくは、戦争は、ただの殺し合いや、領土の争いなのでバカらしくてくだらないと思います。そんな戦争の悲しさを一つ一つ細かくお話をしてくれた池田さんも話を聞いてつらいと思います。池田さんのお父さんがきせき的に助ったことや、女性を助けたことに、ぼくは、とても感動しました。広島での非爆者は約24万人その内の半分つまり約12万人が亡くなりました。とても悲しいお話でした。広島と長崎に落とされた原子爆弾のいかは①爆心地での温度が100万と②爆弾の爆発による強いしゅげき波③原爆ならではの放射能いずれにしてもおそろしいものです。ぼくは、この話を、家族や友達にしてあげて原子爆弾とは、どんなにおそろしいものか知ってもらいたいと思いました。

桃井第二小学校 六年二組 太田 諒

池田真徳さんへ。

ぼくは、池田さんの話をきいて、原子力爆弾の力は恐ろしいと思います。

なぜなら、爆発したあてに、できた球体の大きさが直径200メートル、中心部分の温度が1000000度で、表面温度が3000度で、とくなく、大人が300000人というけたちがいな、強さだ、だからです。

さらに、放射能がもたらす、原爆のこういふこともすまじかったと思います。骨がもろくなったり、手足が不自由にな、たりする、とききました。ぼくは、こんな原爆があてはならないと思います。

全国をまわって、のお話、これからもかへんは、ごめんなさい。応えん(てい)ます。

杉並区立桃井第二小学校 六年二組

柄本 光輝

先日はお忙しい中わざわざ来てくださりまして誠にありがとうございました。池田さんが話してくださった戦争そして平和、全ての事が今でも心に残っております。その内、特に心に残った事を説明したいと思います。

まず1つ目は広島や長崎に落とされた原子力爆弾の威力そしてその恐ろしさです。少しの間に何万人もの人の命を奪い、ものすごい熱線を人に与えた原爆。僕は2度とこのような爆弾を使ってはいけない、それどころか2度と原爆を作らなくて欲しいと思います。どこの国に落とすかとしても僕は命を奪う事は絶対にしてほしくないと思います。命は生き物に与えられたたった1つだけのものです。それを奪うなどとんでもない事です。

もう1つ目は痛みで苦しんでしまった人です。かと言って、即死になってしまった人は良いというわけでは絶対にありません。本当に助けて欲しかったが亡くなったという事にはとてもかわいそうで、なぜこんな事をするのかという心が出ます。

全ての人は命を持っています。人だけではなく、動物、昆虫、鳥、魚と命を持っています。その命を奪う事は絶対にしてほしくないと思っています。

桃井第二小学校 6年2組

内田 翔

池田真徳さんへ

ほか「カ」話を聞いて思ったことはやはり原子爆
弾は三十万人以上というたくさんの方の命を
うばい、その後またたくさんの方達を苦しめ
るこんな作物だということに気がつた
ので、かく兵器はつがもなように扱って
だと思いました。また、かく兵器にかもつた
単戦争はたくさんの方の人たちも
苦しめるものなので、どうにもならずに、平和
について考えるべく「主だ」と思いま
した。

桐丘小 6年2組 今里義平

池田 眞徳さん

広島の九日間でのお話しを聞かせてもらい
ありがとうございました。原子爆弾は日本にしか
落ちていないので、その時のことがよく分かるお
話しでした。原子爆弾が日本にしか落ちてい
なかったのも、おどろきでした。原爆が広島
に落ちてその現場に行、たときのお話しはすご
かったと思います。皮ふがずるりとはがれおちたど
きはその場にいた人々はびくりにしたんじゆないか
と思います。広島の中心部に行けば行くほど
人が居なくなると言っていました。そして、1区など
も居なくなると聞いて、それほどすごいいかだ
ったんだらうと思います。川での作業も大変だ
たでしょう。でも、帰るときに20さいぐらいの女性
が助かったことはよかったです。おった一
人の命でも救えたのは本当に良いことだと思
います。その女性が今でも生きているのは池
田さんのお父さん、その隊の人たちが救ったから
です。この戦争が終わって、隊の人たちに次々
と亡くなってしまったのは本当に残念です。
このお話しをいつまでも忘れないで、また次の人
へと話したいです。また、戦争が日本で起
きたとしても、これ以上ぎせい者はだしたくない
と思います。ありがとうございました。

桃井 第二小 井上 春彦

池田真徳さんへ

げん子ばくとんについて話してもらって戦争はいやだと思った。人間の姿に見えなくなるとはびっくりしました。あとげんはくしほうしゅ線を知っていたけど何メートルも飛ぶよとのほびき波がおるとは思いませんでした。げんばくの話をしてくれてありがとうございました。

桃二小

茶本達理

池田 眞徳さんへ

ぼくは、池田さんの話を聞いて、すごく感動しました。

原子力発電機が壊れてからの消火活動や死んでしまった人などを
燃やす作業など、ぼくがやらなければならない作業をやらせ

たりしか、第二班全員がにげださず、最後までやりとげ
たことが、とてもすごかった。そして最後帰る時に、子どもが助け

を求めた時に、ちゃんとその子について、まぬしを、適当にで
はなく、時間をかけても絶対に治そうと思、てやっていたから、60

年たった今でもその人がおぼえていて、感謝の手紙を書くんだと
思いました。池田さんのお父さんが助けた人たちや助けた人たち

の親せきの人たちなど、言葉や文字で今伝えておかくて、
池田さんのお父さん感謝している人はたくさんいると思う

ので、すごくか、こよくて、いいことをしたんだな。と思いました。
池田さんは、その他にも、原子力発電機のことをたくさん

孝女えて下さいました。ぼくはとくに原子力発電機の落ちた所
は100万度で、太陽の表面温度と同じくらいということや、その

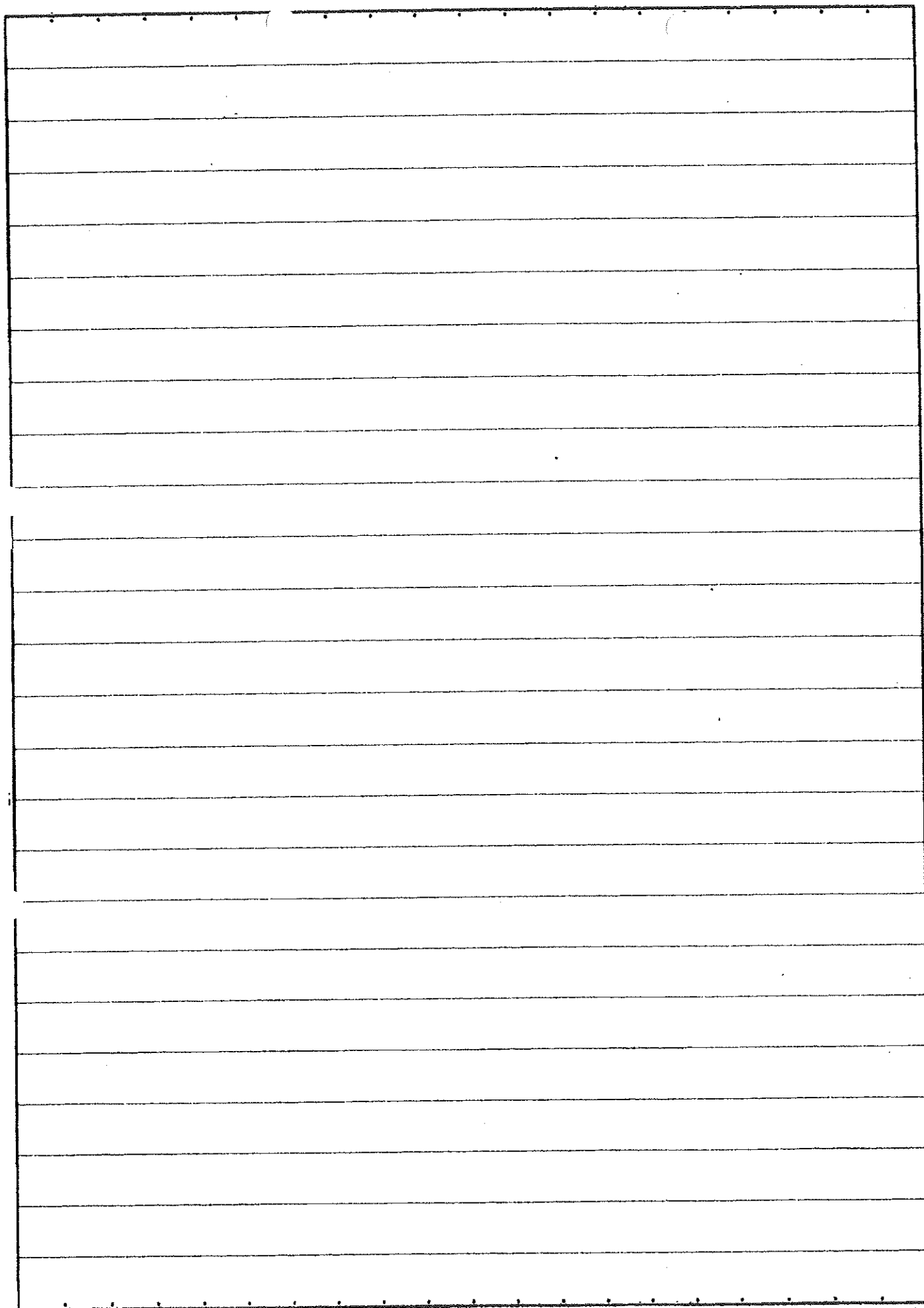
周りでも7000度もなることや、広島に落ちてきた原子力発電機
に使用していたウランの量が、ゴルフボールより小さいくらい

なのに、広島を町1個を焼くほど、すばらしい力があること
にビックリしました。ぼくは家に帰ってから、お父さんにも

お母さんにも、池田さんが話してくれたことを話しまし
た。ぼくはこの話を、もっといろんな人に知ってほしいと思

います。だから、池田さんのお父さんに直接会って、他にも、も
っといろいろなことを聞きたいです。今回は、広島で原子力

発電機の話をお聞きさせていただき、ありがとうございました。
桃井第二小学校六年二組 荒木 次元



池田さんへ

ぼくは、池田さんの話を聞いて、ゾットしました。

なぜかというと、よきより悪、人がおどろかされた
ようになって、ひう、がたけさか、211ると
そうぞうするだけでとりはたがたしました。

このはなしをきいて、もうせんぞうは、では
ならないとおもいます。勝、とも負け、とも、
けしてよろこぶ、人はいないとおもいます。

一つ一つの命のたいせつさを池田さんの話を
きいてとって、もともと、もともと、重いもの、た、と、
かりました。ぼく、こ、れ、が、ら、友、だ、ち、を、た、い、せ、
つ、に、た、い、に、ま、け、し、か、こ、し、か、を、さ、せ、た、り
ま、す、う、け、な、い、よ、う、に、か、ん、は、り、ま、す。

西脇 康一

広島の話を知りて

池田さんのお話を聞いて、言われた事を全て想像してしまい、とても恐かったです。

原爆の恐ろしさ、戦争の恐ろしさがありました。そして、アメリカがすごいことになって事もわかりました。

7万人を殺してはいけないのがルールなのに無視して百万人を殺して悪い国だとも思いました。

そんな国に負けをほしくなりました。

ホクは20話を聞いてこれからは生きていく物を大事しようと思いました。

今回はどうもありがとうございました。

6-1 土佐 龍世

～広島の話を書いて～

まず最初はあの話をしてくたさり、ありがとうございました。話は話すだけでもつらいでしょうが、とても勉強になりました。

正直このお話は少し小節か、たです。生きているのか死んでいるのか分からない人が行進する様に進んでいるのは、想像するだけで気持ち悪い光景です。しかし、あまり戦争の話を書いた事の無い僕はこんな感じだったのかとおどろきを感じました。

もうこんなおどましい事が無い様に戦争は無くなるべきです。大人の方が戦争反対と連呼している意味を改めて知りました。しかし、なせ原爆なんかを日本に落としたのでしょうか。それはとても疑問です。

最後にこの広島の話をしてくださり、本当にありがとうございました。

6-1 村松 拓海

池田さんへ

醜い。汚ない。吐き気がする。

私が池田さんの話を聞いて思ったことです。被爆者に対してではなく、人間に対してです。

無関係で、無抵抗で、無かな人に、どうしてあそこまでできるのか。信じられない。汚らわしい！

核戦争が起これば、人間は良くて数名の生き残り、悪くて絶滅です。なのに何故、そんなものをつくりたがるのか。理解不能です。

小さけんじゃねーよ。笑ってんじゃねーよ。てめえ自分が何しようとしてるか分かるのかよ。

B29に乗ってVサインする人を見て、こう思いました。

そして、思いました。

平和が一番だ、て。

平和が一番です。二度とこんなこと起きて欲しくない。

けれど、私にできることはあるのか。それで、何かが変わるのか。ず、と、そんなことを考えてました。

桃井第二小学校

六年一組五番 伊藤 響子

池田さんへ

昨日は、広島原爆の貴重なお話しをしていただき、ありがとうございます。原爆の怖さをあらためて感じました。(体験をしていないばかりこんなことを言えていのが分かりませんが……)「皮が剥がれる」「キス口にウジ虫がいる」「体全体を火傷している。」どれも怖いことですが、現実ほも、とひどがたと思います。今はそんな面影もあり残ってはいないけれど、ほは池田さんのように、原爆のことを忘れてはいけないと思います。だから少しでも他の人にこの原爆の怖さを伝えていきたいと思います。(どこまでできるかどうかが分かりませんが全力を尽くしたいと思います。もうこんな悲いことが起きないように願ってー。)昨日は本当にありがとうございます。あのお話しのことは一生忘れません。

6-1 吉野より

池田さんへ

桃井第二小学に第二次世界大戦でアメリカから日本に投下された原子力爆弾のおそろしさについて、わざわざ来ていただいて、ありがとうございました。ぼくはこの授業で戦争と原子力爆弾のおそろしさを感じました。池田さんは体験することが一番恐いと言っていました。聞くだけであなたに恐かったのが現実では本当に、越えてしまわないかと思っていました。原爆の爆心地はなんと100万度で、計算してみると、40度のおそろしの二万五千倍でした。おそろしの2倍でもあつて入れないのに100万度になったら、生き物がいなくなってもおかしくないな、と思いました。じやがいもに七割の汁をよそってゆでたら皮がかわるにむけるような感じで人間の皮がむけてしまふなんてびっくりしてしまいました。原爆は人殺しのためのだけにつくられたのなら、はやくこの世からなくなってしまう方がいいなと考えるはした。これからの未来はむだなあつそいで、人が死ぬようなことがないように、がんばりたいと思います。

浅木 崇勲が

池田さんの話を聞いて

ほくは、痛い話など怖い話は苦てたので特に原火暴の話だ、たのでもと怖かたです。最初に池田さんのお父さんが見た人の死体のよなめを見てる時から、ほくは、気持ち悪くなて聞けなほと怖くなりました。でも、と怖い話は人が助けを求めてる人も助けようとしたら、皮がむけて肉が見えるという場面がかなり怖かたです。でも他の話で火暴心土也の戸所の温度が100万度で辺りが3000°にな、たというのがありえなくて、しかも死人が2万人ほどもな、たという話はとても悲しく思いました。その人たちが皮もたぬさけて肉が見える人なんだな、と思いました。少しグロテスクな所の話もあるけど、とてもいい話でした。その話を聞いて88才の池田さんのお父さんも長生きしてください。

そして原火暴の事をよくして原火暴で死んだ人達ばかりかきそうでした。だから、原火暴の事をよくして、ふとほくがみんなに話せるようになりたいです。

6-1 荒川洋志

池田さんへ

昨日、「ヒロシマの九日間」を聞いて、「指からひぶか
ただれて、顔が大やけどして、肉がえぐれて、
むきだしになっていた」と言っていて、私は「はだし
のゲン」の、人を思いつかべましたが、池田さんの
お父さんが原爆ドームの、ひ爆した女性の模型
を見て、「きれいすぎる」と言った」と聞いた時、あ
あ、もって人達は、ひどかったんだな……。と思いまし
た。私は、戦争について何ができるのかわかりま
せんが、痛いのはイヤだし、苦しい生活はイヤだし、戦争
で死ぬのなんて絶対イヤ(大往生で死にたい)なので、
「戦争はイヤだ」と思いつづけます。

6-1 岩松 見

池田さんへ～

私はひろしまの9日間の話を聞いて、いろいろな事を思いました。最初の方はへいきだ、たけじ、たんたん、おくな、てきました。火事で人が焼け死んでいる話も、傷口からウツ虫などという話がいまでも頭に残っています。

戦争はとてもおそろしいと思いました。

今でもイセの国で戦争がおきていて、こうゆう事がおきていると思し、つみのない人がかわいそうに思えて

きます。そして池田さんの話を聞いて、私達も命は大切にしないといけないと思いました。

私はなぜ戦争をするのか「ふしぎ」に思えてきます。私は、全体に戦争はしたくないと思いました。

そして、きちょうな お話をありがとうございました。

吉田明音

池田さんへ

桃二小までわざわざ来てもらいありがとうございました
8月6日8:15に落された原子爆弾のことや落下した
あとはどうだったのか話を聞かすごく大変な苦しみも
悪いと思います。けどそれを承っていた池田さんのお父さん
はすごいと思いました。

爆心地は破壊と書いて「あついでいおん」
と思いました。それと原子爆弾の重さ
が4セというのを初めて知りました。
それと助けようとしたら皮かどれるのが少し
気持が悪かったですし、貯水池の中に火が
たいてくまわりで入っているとどうも気持悪
く恐怖感もありました

けど池田さんのお父さんは鼻かけの鼻袋があり
まごかたでも元安川は蒸発しているほど
熱い水をとめかりました

池田さんの話を聞きあつためて原子爆弾
の被爆者さとしりました

6-1 上巻 陸

広島の話聞いて。池田さんへ

池田さんは、広島の話をしてくださり、ありがとうございます。
いまは、池田さんの話を聞いていてとてもおもしろい、
なっていました。で、人々が広島の方へ進むと人間らしい、
物がある、そこでとよな?と思ったりもしました。
顔がとけていたり、かがべろんべろんにははがれて
いて、母もかましているとききは、たっへんたっへんこと
をよくしりました。そしていちばんきになっているのは、
はくたんの重さは4トンにもおおよそ、それだけで、
そのはくたんはどのくらい大きいのか。
だからネットで、広島丸の間を聞
いてとんとん調べてみました。もう一つは、いつ
もおにきりなんでしょうか? あまないんでしょ? それ
は調べられないので、できたらお返事もくれれば
うれしいです。さうこの方で女の人を助けたといっ
ていましたけれど、女の人と近づくにいとハイがう
るさい、と思ってつかまえておちやるとは、あがって
考えられなかったか、あとも昔本でがイイツ
ちにならばにしてそれを薬にしてのんんでいた、
それ本当ですか、マニカ、ハダシのケムシにのってしま
とにかくお体に気を付けてからと健康でいて
いただき、またお会いするのを楽しみに
しています。

ヤマモト マチ
山本 聖

池田さんの話を聞いて

池田さんのお父さんが広島原爆を体験は、とても貴重だな、と思いました。

遅れてきたトラック、もたれていたドラム缶、日頃の訓練…全てが一致して、池田さんのお父さんは助かったのは、すごくきせきだな、と思いました。

川でせくなった人たちの死体を片付けるのは、私だったら嫌だな、と思います。ニオイがきつくて皮膚が破れて…と、誰もが嫌がる仕事を池田さんのお父さんは慣れるまでやったのがすごいな、と思いました。

原爆が落ちてから9日後、やけどした皮膚の上から、うじ虫がいっぱいいた、ということで、なぜ、川の死体にも生きている人にも繁殖していたのかな、と不思議に思いました。

8月6日、原爆が広島に落ち、15日が終戦の日というのは知っていたけど、その間の9日間に、池田さんのお父さんたちのような兵隊さんの苦労があったんだな、と知りました。

お急がしい中、ありがとうございます。

～広島の話聞いて～

池田さんへ

ぼくは今回の話を聞いてとても予想外にセツクリしました。ぼくのお父さんのお父さんとお母さんが戦争を経験して一回だけ話を聞いたことがありました。そのときぼくはすごくセツクリしました。こんな戦争がかわいとは思いませんでした。今回の話を聞いて一番かわがたのは人間が原爆にあっても一生けん命生きようとしてしかもこれではだかほかれではねか見えたりしてそのところか一番かわがたです。ぼくは人間のはだかたれ落ちるたぬと信じんたぬのでありえないなと思いました。広島の人はずいかわいらしいだと思いたしあと今生きている人たちは今思えば幸せだと思いました。もし広島に行くと大変なことだかと思ひます。戦争なるとさういふことだかと思ひました。戦争で死んでしまった人のお父さんやお母さんはまだかなしんて思ひます。戦争前に産れた赤ちゃんも死んでしまてかわいらしくはうがないうです。みんながかわいらしく思ひても痛みをたええなしてたおれてしまたりみんな手を前にして痛さをふせいでいます。アメリカの人たちはどうしてこんなひどいことをするのかわよくわかりません。池田さんは11日として9日間死んでしまった人たちはこんなきもさあるくてもせうたやんなくはいいからいので池田さんはすごくこんなしょうがあるなと思ひました。原爆のせい広島が火葬野原になてしまてさねい。これから戦争のない幸せな平和な国であてほしいです。この前かぼくどうにかかいらさういふました。

6-1 西尾郁也

～広島の話聞いて～

ぼくはいままでかたんに「原爆」といっていたけど、広島丸日間の話を聞いてかたんには「原爆」といえないようになりました。ぼくが一番こわいと思っただのは、ひふがたれさかがり脂^{シブ}がたれているというのが、一番こわくて、頭がいたくなりました。

「原爆」は中心が100万度、ひょうめんが7000度、爆心地でも3000度、もう人聞の理解をこえています。24万人がひ爆して約2万人が死亡...ぼくはこの話を聞いて「原爆」のこわさをしりました。この話をあすれないで、しっかり覚えておきたいです。

6-1 高橋 拓樹

「ヒロシマの九日間」の話聞いて、
池田さんこの前はありがとうございました。
池田さんは、話しを聞くことが一番こわくない
とおっしゃいましたが私は、話しを聞くのでも
おそろしかったです。
私は、8月6日午前8時15分に広島にいて原子爆弾を
体験した訳ではありません。

でも、池田さんの話しを聞いた時に想像をし「あ
あ、こんなだ、なんだ」と実感しました。
池田さんのお父さんは、とても勇気がいたと思っ
ます。死体にかツリンをかけ、火でやきつくす
そんな行為はとても私では出来ません。
でも、お父さんは命令をしたがい死体を安全な
場所におき死んでいるのか生きているのか分からな
い人を運ぶなんてすごい勇気があったと思います。
死体が焼かれている所など見ると、涙が落ちると
思います。

毎日、毎日、早朝から夜まで働き、ばなしなので体力が
持たなかつたと思います。
自分より原爆者を助けたお父さんの勇気をみな
いたいです。

「ヒロシマの九日間」の話してくださった池田
さん。実際に、広島にいた池田さんのお父
さん。本当にありがとうございました。
かと思っていた原爆よりもはるかにこわか。

た本当の原爆の姿をお
とうございしました。

6-1 浅野莉央

た 本当の原爆の姿をおしえてくれて、ありがとう
ございました。

6-1 浅野莉央